

---

# 神とループと証明と

白河とく

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神とループと証明と

### 【Nコード】

N6313Z

### 【作者名】

白河とく

### 【あらすじ】

ただ、神様に抗い、戦う話

## 戦いの始まり

今日は入学式。

俺は早くに学校についてしまつて暇を持て余していた。

新しい友達を早めに作っておきたかったからだ。

数分経つとポツポツ人が入ってきた。

そのうちの数人と適当に会話して仲良くなった所で先生が入ってきた。

「席に座れ〜」

そういつて先生は黒板に文字を書いた。

「俺の名前は〜」

そんな下りが始まり、自己紹介が始まり、先生がクラスから出ていった。

出ていつて30秒くらいたったとき突然アナウンスがなった。

「ピーンポーンパーンポーン」

「入学おめでとう皆さん！！これから楽しい高校生活ですね！！まつ送れないんですけども。皆さんには今から出席番号1番の人から自殺してもらいま〜す！！」

「どういうことだよ!?!」

「悪ふざけかよ」

クラスメイトが騒ぎだした。

一体どうなつてるのか俺にもわからない。

ただ、悪質な嫌がらせとかそんなレベルの事ではないだろうと思つていた。

「今から絶対条件を言うからよく聞いてね

まず、僕は神です。次、君たちは最終的に死ぬのならば、どんな自殺でも良い。この二つだよ 多分みんな狂っちゃうだろうけど頑張つてね んじゃとりあえず先生殺したから掃除ロッカー開けるね〜」

そして掃除ロツカーがあいた。

ゆっくりと先生の死体が倒れた。

クラスメイトは悲鳴をあげたりしていた。

「これで信じたかな？んじやはっじめまゝす！！名付けて、神様の暇つぶしゲーム！！」

みんな僕を頑張つて楽しませてね！！」

俺の長い長い戦いがこの時始まった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6313z/>

---

神とループと証明と

2011年12月21日01時50分発行